

No	質問・意見等	回答・対応等
1	コミュニティプラント（小規模下水処理施設）について、今後どうなるのか。 合併浄化槽への補助金について、小規模下水処理施設のある地域も、合併浄化槽設置補助金の対象としてほしい。	コミュニティプラントは民間のもので、浄化槽管理組合が各地区単位にある。 単独浄化槽から合併浄化槽に切り替える場合は補助金がある。コミュニティプラントの地域内での合併浄化槽への切り替えに補助は出ないこととなっている。補助金の詳細については、市に確認する。
2	北部給食センターが廃止されると聞いた。 稲葉地区交流センターも浸水地域で、今後どのようになるか。	給食センターについてはもう少しかかる。交流センターについては広幡の立替が終わってから、大洲か稲葉かと言われているが確定していない。浸水の心配もあるので、地元の皆さんが声を上げてくれることが大切。
3	県のリバーフレンドシップで瀬戸川の堤防も含めて草刈りをやっている。草はぼうぼうで、燃料代も活動に支障をきたしている。年間40缶、50缶使うのでなんとかならないか。	場所は助宗の方だと言うことで、瀬戸川は2級河川で県の担当。リバーフレンドシップについては、県との連携難しいという声が各地で上がっている。要望意見、市に上げていく。
4	谷稲葉の交差点横のGS付近、斜面の草刈市の職員が年3回くらい草刈りに来ている。生活環境課でやっているのか。どうしてやっているのか、聞きに行ったが聞けていない。地滑り対策という話もあるが定かでない。知りたい。	市の環境センターが奥にある関係で職員が草刈り等をしていると思われる。
5	県道（32号藤枝黒保線）の拡幅について。温泉や、今度の道の駅も、交通量が多くなって子どもの登下校、自転車等も危ない。側道を付けてほしい	県道の拡幅は、現状民家等も連なっており難しいのではないかと。議会でも提案するが、自治会、県議、市議一丸となって取り組む必要がある。 稲葉小のお母さんからも聞いた。議会としても時間はかかるだろうが取り組んでいく。
6	原発の廃棄物を、びく石の（元）牧場の奥に埋めるという話。以前に議員から聞いたが、一般の人に伝わっていない、地域の人も知らない。これはどういうことか。	市としても自治会としても合意形成を踏まえて計画を進めていく。無視して進めることはない。情報の出所、真偽もある。私たちの知らないところで廃棄物を埋めるということはない。
7	人口減少について。子どもに対する手当ある。藤枝市の婚姻数はどれくらいか。もっと前の段階から手当が必要ではないか。結婚したいと思える環境を作っていく必要があるのではないか。	婚活の後押し議会としてもしたい。 子育て支援をしても効果は出にくく、家事育児を男女で負担して女性が働けることを支えて行くと増えるデータがある。結婚したい、実際する人の条件は収入。人口対策は議会としても大切と考える。
8	マイナンバーカードについて。健康保険証は、医療業界などからも反対が出ており、マイナンバーカードと一体化せず現在のままの保険証で残してほしい。市議会からも、声を上げてほしい。	DXはどうやったら使い勝手がよくなるかという視点で取り組み始めている。地区交流センターでもサポートを進めている。12月に保険証切り替えは早いという意見も出ている。議会としても取り組んでいきたい。
9	高洲小通学路 高柳神社横通って 高柳2丁目の交差点。グリーンベルトが左側にあり、直進すると横断歩道が右側にしかないため、カギ型に幹線道路を渡る事となる。2度わたるのは子供の負担。	要望を伝えていく。
10	田んぼがなくなって、土砂降りになると水が溢れる。高洲だけではないが、ふれあい広場は面積は大きくないものの、貯水池として効果がある。民地だから現在はどうこうできないが将来的には市が管理していくことが必要ではないか	住宅地に置き換わっていくことで、農地の治水能力が失われ氾濫の原因に。ふれあい広場が地主の理解でできるが、治水対策として活用することを検討している。
11	農地の、跡を継ぐ人がいなくなっている。家を建てるために売りたいくても農振地域なので売れない。農地をどうしていくのか、議会や市の考えは。	藤枝は第6次総合計画で県内で初めて青地のところも含めて土地利用計画作った。大洲の方では進んでいる。高洲地区でも西焼津駅にも近いので、2年計画の中で検討するという答弁ももらっている。

No	質問・意見等	回答・対応等
12	<p>高洲は交通渋滞が激しい。はばたき橋が出来て、また激しくなった。他にも高柳青葉町線一方通行50メートルほどが交通のネック。事故も心配される。住民の意見割れて20年来の課題。この解決を長期計画で持って進めていただきたい。</p> <p>藤枝市は全県から見ても渋滞の多いところではないか。幅数メートルの生活道路に影響し、生活道路で事故増える。子供達の安全脅かされる。車が迂回して入ってくる状況を改善する必要を感じている。ぜひ進めてほしい。</p>	<p>田沼街道に抜ける道、地元要望はあるが、地権者の理解が得られていない。国や県には強制執行はあるが、市はそこまでは難しい。市としても、取り組む意思はある。検討課題として認識している。</p> <p>小川島田幹線ができないと、東西の道路は足りない。国交付金55%残りを地元で出せるか。田沼通りから高洲小学校までの残り、藤枝市として県にも要望伝えるよう伝えたい。</p> <p>短期計画の場所。議員としてもとり上げて取り組んでいきたい。</p>
13	<p>自治会の役員が高齢化でやってくださる方がいない。定年が70歳、それからやれる人がいるのか考えてほしい。交流センター内に自治会の使える部屋がほしい。</p>	<p>自治会等への書類を減らすなど業務の見直しが必要。効率化を求めていく。DX化していく事も考えていくべきだと思う。広報藤枝の配布は、中山間地域は厳しい声がある一方、紙媒体がなくなると情報が来ないと困るから、月2回配布が良いとの意見もある。若い世代が関わっていないことが問題。若い世代にも自治会を理解してもらえるような取り組みが必要と思う。高洲地区交流センターは予約が一杯で、もう一つ欲しいという声がある。議会としても取り組んでいきたい。</p>
14	<p>新幹線が近く、ひかり・のぞみが通ると音と振動がすごい。地元の騒音対策委員会はもう稼働していない。高校生が通行する道が心配、対策委員会はもう作らないのか？地元で作るべきなのか。</p>	<p>新幹線については、今後貨物が通る話もある。どう対策しているのか、市に確認していく。</p>
15	<p>市立総合病院の前の道が朝8時前後、混んでいて1時間かかる事もある。対策はできないのか。裏道知っていると良いが、最近また混んできた。議員みんなで行って体験してほしい</p>	<p>病院側は問題意識は持っている。予約の時間を重ならないように分散している。病院の職員は遠くの駐車場にしてもらっている。これは解決しないといけないと思う。調べて取り組んでいく。</p>
16	<p>mobiは予約していないと乗れず、途中下車もできないが、すごく便利でよかった。改善の上、再開してほしい。</p>	<p>民間の事業者がやっていたモデル事業。実験なので改善すべきこともあったかと思う。高齢者の足となる交通手段は必要であると思う。どういものが最適か検討が必要。</p>
17	<p>下水道計画区域の拡充はどうなっているか。</p>	<p>これ以上は増やさず、合併浄化槽を伸ばしていく方向。</p>
18	<p>公共下水道と区画整理について聞きたい。2メートルセットバックしても植木は撤去しなくて良いと言うのは本当か。</p>	<p>区画整理は20年前に反対があって消えた。合意形成が非常に厳しい。1名でも2名でも反対すれば成立しなくなる。高柳はその代わりに環境整備協議会を作って、区画整理の代わりに取り組んでいる。区画整理については出来ないとお答えしておく。今のところ予定はない。</p>
19	<p>用水路に市民が土を入れて水が流れなくなるところたくさんある。市の職員も見に来たが何もしていない。これでよいのか。</p>	<p>確認して、市に伝えていく。</p>
20	<p>木造住宅の耐震住宅の補助金があるが昭和56年5月1日から平成12年の間の住宅への補助がない。補助が出るべきではないか。屋根の瓦が重くてつぶれると聞いている。そこに対する補助金も考えてはどうか。</p>	<p>56年前の住宅でもやってない住宅もある。2000年の新基準に対してはまだできてない。重く受け止めて、議論深める。圧死が一番多いのはわかる。耐震補強工事は高額。補助金の額もこのままでよいのか含め考えていく。家具に対しての耐震補強工事の補助金があるので、市民へ周知を図っていく。</p>
21	<p>トイレカーは自走式しか増やせないのか。自走式だけではなく牽引式のほうが、平常時の利用が増えるのではないか。イベント以外でも使うのみではなく、各地で使えたらと思う。</p>	<p>トイレカーの活用については今回能登で使用したのがはじめて。具体的に増やす車種は決まっていない。</p>
22	<p>東南海地震が起きた時、対応どうなってるのか、どうしていくか。ゴミ処理、健康面、高齢者の対応、原発。市の復旧体制、支援物資の運び入れの体制聞きたい。</p>	<p>大規模災害対策課で対応している。近年の震災状況を見ると訓練の見直しが必要で避難所の環境も重要。</p> <p>原発の避難については課題もある。安定ヨウ素剤配布については見直しが必要と思う。2月の議会で各議員が様々な角度で議論する予定。</p>

No	質問・意見等	回答・対応等
23	地盤が悪い場所などでの地震に起因する液状化現象がおきた際の復旧に関する対策はされているのか？	本来は被災時の液状化などを見越して土地開発の時点で対応してこなければならなかった事である。普段から早めの避難へ繋げる備えをお願いしたい。家屋の耐震化や家具の転倒防止などに対して市の補助もあるため、是非知って頂いて進めて頂く事も大切であると考えている。
24	1次避難場所が耐震化がされていないなどあるが安全確保や整備などは進められているのか？	地域ごとのマニュアル作成を進めて頂いて地域ごとに対応して頂きたい。そのために市の方でもそのお手伝いを進めている。
25	発災時の医療体制が4箇所になったが瀬戸谷地区から保健センターまで行くのは現実的に無理である。この体制の見直しはあるか？	発災時は医療体制はチームを作って対応に当たらなければならないなどといった事情もある。4箇所に減ったのはあくまでも医者側からの要望によるものである。
26	荒廃農地が増えている事について補助も含め対策を考えていても構わない。	田畑の色分けの調査を進め、農地として残すか否かの確認が進められている。ゼロから農業や農地活用に向けたマッチングも進めている。耕作機械導入に関する補助も行われている。
27	農地の相続について市の方の支援などやって頂ければ助かるかと考えているがいかがか？	相続土地国庫帰属制度はなかなか要件的に使いづらい制度となっており、これからも勉強しながらやっていきたい。
28	本郷地区には藤の瀬会館等も有り子育て世代に移り住んで来てもらいたいなどあるが、土地の規制の関係で新たに家を建てる事が出来ないなどの事情があったりして実にもったいない。法整備を進めてこの地域に人の増加が見込める状態にして頂きたい。	人口減少している地区に人が帰ってこれるようにできた優良田園住宅の制度もあり、これは大洲地区では現在成功している。現在国は青地でも家を建てて良いとしているのだが、静岡県がそれにストップをかけてしまっている状況である。容易ではないが県議などにも掛け合って進めていきたい内容であると考えている。
29	能登地震を見て、瀬戸谷の中山の橋が落ちたら大型車両が通れなく孤立してしまうが、その対策は？	昔は他の橋をかける計画もあったが実現はしなかった 今の橋で洪水に対応出来る対策はしているが地震に関しては自治会、町内会と一緒に要望していく
30	町内会長の権限や立場は？	行政としては町内会の代表と考えている 町内会の中の問題に関しては町内会内で考えてもらいたい
31	道の駅について① 行政から地元自治会や町内会に情報が降りてこないが？ どうせ作るなら道の駅の中に販売所や草刈り問題などの事業部を設置してほしい	3.4年前から説明はしているが、中身の詳細に関してはまだ決まっていな部分もあり反映は可能と思われる。また説明会が足りなければ要望していく。ちなみに仮宿の道の駅は、トイレ、案内所、駐車場、地域活性化施設ができる予定。
32	道の駅について① 指定管理者の選定は入札か。	運営主体もこれから決めていくため、地域全体で課題を解決するための団体をつくりたい。
33	瀬戸谷は程よい田舎で良く住みたいという人もたくさんいるし、若い世代に定住してほしい。そのためにも土地利用などの法改正をして欲しい。	現状では優良田園住宅の制度が使えないため（対象の白地農地がないから）市にも求めていく。他にも農地付き空き家バンクもあるので空き家バンクの活用も進めたい。
34	ライドシェアなどの交通関係に関する情報も教えて欲しい。	高齢者向けの交通事情も加味しバス路線の存続や出かけCAR、ライドシェアの可能性も出てきている。街中では相乗りタクシーも始まっている。
35	内谷工業団地の隣接する道路について、渋滞を懸念する声もあるが、計画を伺いたい。	周辺道路についての課題も認識しており、これからも注視していく。

No	質問・意見等	回答・対応等
36	朝比奈川に掛かる橋脚の耐震化を県土木で行っていただいているが、橋脚に流木等がかかり水害の危険性があるので橋脚を減らして欲しいと要望している。県にも要望して欲しい。	県の事ですのでご意見として伺っておく。
37	団地の共有地の管理(草刈り等)に年間80万円以上町内会で掛かっている。高齢化も有り草刈りもままならない。補助はできないか？	民地については市・県では対応は難しい。協議中でお答えについてはしばらく待つて欲しい。
38	山林など手入れが出来ず荒れ放題。土地国庫帰属について知りたい。	全国的な大問題になっており、市としても考えている。
39	空き家の法改正が行われたが、空き家の管理について市の関与はどうか？	市として介入出来るが、全てではない。法改正の中で対応していきたい。市には伝えていきたい。
40	災害等では水が貴重で災害時協力井戸を増やして欲しい。	井戸があってもご協力いただけないところもある。皆さまに登録していただけるよう要望していく。
41	市の政策ではなく、議会として独自の活動の報告していただきたい。	委員会や各党派、個人でそれぞれ取り組んでいきたい。広報やFacebookにも力を入れていきたい。
42	藤枝市議会は通年議会を取り入れているが、どのような効果があったか伺いたい。	1月の臨時議会で住民税非課税世帯に対する物価高騰対策を審査可決したが、ある市では2月定例会で取り扱う予定であると聞いており、いち早く給付できる事となった事は効果があったと思う。
43	広報ふじえだについて、市民のどのくらいの方が見ているのか？他市を参考に内容のレベルアップをして欲しい。	市へ要望していきたい。
44	議員の皆さんが各町内会単位くらいに出て声を聞いていただきたい。	検討していきたい。
45	農地の白地化を安易にすべきではない。農地保護の観点から優良農地の確保や介入農地は地域の意見を聞き、効率的に進めて欲しい。	今後市での見直しがあるため、市民の意見を聞いて要望していきたい。
46	自治会・町内会の役員が無償でなり手不足になっている。役員手当を支給すべきと思う。	市内だけでなく全国的な問題である。手当の支給を含め検討していきたい。
47	総合病院の駐車場問題と診察待ち時間の問題がある。他市の病院とも比べて実態調査をして欲しい。	これまでも問題となっているため、市の方でも対策を考えている。
48	美しい景観まちづくり会議の委員構成や条例等、あり方も見直して欲しい。	景観委員の地域外の人が参画していたが、その地域の人が少ないので、その問題も伝えていく。
49	議会としてビジョンを作るべき。	市の仕事を精査するのが議会の仕事。委員会や議会としても要望を出している。地元からも声をあげていただきたい。
50	藤枝市の将来のために①少子高齢化について□	利用されていない農地転用で移住を図る。少子化対策と子育て支援が重要であると考えている。
51	藤枝市の将来のために②農家の後継者不足	ゼロから農業や農地プランなどを活用しながら進めていきたい。
52	藤枝市の将来のために③教育	県や国に対して学費等軽減措置を求めていきたい。
53	藤枝市の将来のために④防災	共助をどうするかが課題と考えているが、まずは自助が重要と考えている。地域の助け合いが重要。避難所であっても普通の食事や暮らしが出来る環境を作っていける事が重要だと思うので目指していきたい。
54	藤枝市の将来のために⑤自治会町内会のなり手不足	藤枝市でも課題ととらえており、負担軽減のため、草刈り機の導入や、広報ふじえだについては1回を外部委託配送しています。